

# 信 頼 性 ニ ュ ー ス

No. 104 2017年8月

発行：日本信頼性学会  
東京都新宿区西新宿 2-7-1 小田急第一生命ビル 4 階  
一般財団法人日本科学技術連盟内  
TEL 03-5378-9853 FAX 03-5378-9842  
WWWホームページ <http://www.reaj.jp/>  
発行責任者：長塚豪己（編集委員会信頼性ニュース小委員長）

## 日本信頼性学会 第 30 回秋季信頼性シンポジウム 発表募集

- (日 時) 2017年11月27日(月) 10:00~19:00《時間は予定です》  
(会 場) 一般財団法人日本科学技術連盟 東高円寺ビル (杉並区高円寺南 1-2-1)  
(主 催) 日本信頼性学会  
(後 援) 一般財団法人日本科学技術連盟  
(協 賛) 特定非営利活動法人安全工学会, 公益社団法人応用物理学会, 研究・イノベーション学会\*, 一般社団法人電気学会, 一般社団法人電子情報通信学会, 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会, 一般社団法人日本開発工学会\*, 一般社団法人日本機械学会, 公益社団法人日本経営工学会, 一般社団法人日本シミュレーション学会, 一般社団法人日本人間工学会, 一般社団法人日本品質管理学会, 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会, IEEE Reliability Society Japan Joint Chapter (\*は予定です)

### <発表のおすすめ>

わが国の産業製品及びシステムは、高いディペンダビリティ技術に支えられ、世界的に高い信用を得ていると思えますが、取りも直さずこれはディペンダビリティ技術に携わっている技術者、研究者あるいは管理者の、日頃の研鑽努力の賜と思えます。それらの成果の発表及び意見交換を通じてその技術を更に改善し、関係者全員の技術水準を高めると共に、その技術文化を確立し、安心できる社会を築くことが重要であります。

ディペンダビリティ技術の発展のために、当シンポジウムで新しい研究・開発・適用事例・改善事例などの経験を発表いただくようお願い致します。優秀な発表に対して、優秀賞・若手奨励賞を贈ります。

### <推薦論文のお知らせ>

各セッションの発表の中から優秀なもの1ないし2件を選出し、ショートノートあるいはケーススタディ(希望があれば原著論文としても受け付けます)として学会誌への投稿を推薦いたします。推薦論文は、通常よりも短い期間で審査を行います(ただし、原著論文の場合は審査に時間が掛かる場合があります)。なお、今回のシンポジウムの推薦論文については、掲載可と判定された場合、掲載に必要な費用が免除されます。

### <予定セッション構成>

1. 【組織, 管理, 規格, プロジェクト管理面】生産システム, 組織改革, 管理手法などの改善によって信頼性の維持・向上および保証を計った事例, 管理手法適用事例, 人間信頼性, 社会との関わり, または新手法。
2. 【試験, 故障解析, 部品, 要素技術の信頼性, ハードウェア面】部品又は機器レベルの設計・製造・試験・故障解析, 物性(接続, 接着, 腐食, 摩耗, 疲労, マイグレーションなど), 全ハードウェア一般の研究・開発・保証事例・改善事例。
3. 【システムの信頼性, 保全性, ライフサイクルおよびソフトウェア面】システムまたはソフトウェアの信頼性, 保全性, ライフサイクルコスト, リサイクル, リユース, 保全支援活動の設計, 解析, 保証事例・改善事例など。
4. 【安全性, リスク】産業安全, 製品安全, リスク解析など。

5. 【データ収集, 解析】情報システム・ネットワークのモニタ, 遠隔・多量・自動データ計測, ノイズ解析など  
高信頼システムの設計評価に係わるデータ観測収集技術, 新データ探索など.
6. 【理論, 一般】基礎理論, 数学的技法, モデル化と統計的解析など.

＜参加費と発表者の特典＞

[シンポジウム参加費] 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 4,000 円, 学生 1,500 円  
[情報交換会参加費] 2,000 円 発表者 (1 名) は情報交換会にご招待いたします.

＜発表申込方法＞

申込方法 学会ホームページ (<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=80>) の「発表申込書」に  
発表概要を記載の上, 電子メールにてお申し込みください.  
または, 学会誌 7 月号掲載の発表申込書に記載して FAX にてお申込ください.

申込期限 2017 年 8 月 28 日 (月) まで

審査結果 2017 年 9 月 4 日 (月) 頃までにご連絡いたします

発表原稿締切 2017 年 10 月 30 日 (月) ワープロで A4 判 4 枚

問合せ・申込先 日本信頼性学会事務局 TEL03-5378-9853 FAX 03-5378-9842 E-mail: reaj@juse.or.jp

## 日本信頼性学会 2017 年度第 1 回フォーラム

### システム安全の新たな潮流

#### ーシステム理論に基づく新しい安全性解析手法 STAMP/STPA の活用ー

私達の身の回りには様々なシステムがあります. これらの多くはコンピュータが用いられており, 高機能化に伴いますます大規模かつ複雑化しています. それに伴い, システム同士のみならず, 人とシステムとの間の複合的な原因による障害も懸念されています. このような複雑システムの安全性解析には, 従来から広く用いられている FTA や FMEA だけでは限界があります. 近年, コンピュータを含んだ複雑なシステムのアクシデントモデルとして, システム理論に基づく事故の発生過程のモデルである STAMP が, マサチューセッツ工科大学のレブソン教授により提唱されています. そして, STAMP モデルを前提としたハザード要因を分析する安全性解析手法である STPA も活用されつつあります. 今回のフォーラムでは, STAMP/STPA の日本への普及や, 本手法の活用に関わってこられた講師の方々に, その意義や内容について, わかりやすく講演していただきます.

(日 時) 2017 年 9 月 14 日 (木) 13:00~17:00

(会 場) 日本科学技術連盟 東高円寺ビル 地下 1 階講堂

(東京メトロ丸ノ内線東高円寺駅から青梅街道を新宿方向へ徒歩約 5 分,

「和田三丁目」交差点手前) [http://www.juse.or.jp/upload/files/map\\_koenji\\_data0227.pdf](http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf)

(参加費) 正会員・賛助会員・協賛学協会会員 3,000 円, 非会員 5,000 円, 学生 1,500 円 (当日払)

(申込方法) 日本信頼性学会のホームページ (<http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=81>) より  
お申込みください.

(プログラム) 13:00~13:05 開会挨拶 (日本信頼性学会 会長)

13:05~14:00 「STAMP と FRAM」

野本 秀樹 氏 (有人宇宙システム株式会社)

14:00~14:10 休憩

14:10~15:05 「複雑システムの安全設計へのチャレンジ

～システム理論に基づく新しい安全解析法 STAMP/STPA の実践～」

兼本 茂 氏 (公立大学法人会津大学)

15:05～15:15 休憩

15:15～16:10 「STAMP 理論を活用した信号保安装置の安全解析の試行」  
国藤 隆 氏（東日本旅客鉄道株式会社）

16:10～16:20 休憩

16:20～17:00 総合討論

(お問合せ) 日本信頼性学会事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟内  
電話 03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

詳細は、 <http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=81> よりご参照ください。

## 日本信頼性学会 故障物性研究会 8 月例会（第 133 回）

(日 時) 2017 年 8 月 25 日 (金) 13 時 00 分～17 時 00 分

(場 所) 日科技連 東高円寺ビル 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1

※地図 [http://www.juse.or.jp/upload/files/map\\_koenji\\_data0227.pdf](http://www.juse.or.jp/upload/files/map_koenji_data0227.pdf)

(本部 (西新宿) ビルではありません。お間違えのないようお願いします。)

(議 題)

【13:00～13:15】 1) 幹事会からの連絡事項

・新入会員の紹介, オブザーバの紹介 等

【13:15～17:00】 2) プレゼン&議論

\*\*\* HALT 特集 \*\*\*

お詫び：諸事情により、一部内容および時間配分が変更となりました。ご了承ください。

13:15～13:25 「ショートスピーチ」 【調整中】

13:25～14:15 「プレゼン」 (株) 東陽テクニカ 川上 雅司氏

HALT 最新情報 2017 -日本の HALT の歴史と今, そして・・・

14:15～15:05 「プレゼン」 エスペック (株) 青木 雄一氏 (会員)

HALT におけるストレスの効果

15:05～15:15 (休 憩)

15:15～16:10 「プレゼン」 オムロン(株) 安藤 薫氏 (会員)

オムロンにおける HALT 活用事例のご紹介

16:10～16:55 「全体討論」 信頼性試験や HALT についてのフリーディスカッション

16:55～17:00 3) 今後の予定

・10 月例会 (第 134 回) 10 月 27 日 (金) 日科技連 東高円寺

【17:30～19:30】 例会終了後、懇親会を開催します。皆様のご参加を期待しております。

(問合先) 日本信頼性学会 事務局

〒166-0003 東京都杉並区高円寺南 1-2-1 一般財団法人日本科学技術連盟 内  
TEL03-5378-9853 FAX03-5378-9842 E-mail : reaj@juse.or.jp

詳細は、 [http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content\\_id=72](http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72) よりご参照ください。

## 日本信頼性学会 Lcc (Life cycle costing)研究会

Lcc (Life cycle costing) 研究会は Lcc に興味・関心があるという共通項を持ちつつ、信頼性工学、会計学など異なる専門分野やバックグラウンドを持つ 10 名前後の研究会メンバーで活動を行っています。年に 5 回ほど、原則として金曜日の夜に東高円寺もしくは西新宿の日科技連ビルに集まり研究会を開催しております。

2017 年度からは、Lcc の研究を進めるうえで有用と考えられる IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) の検討を開始し、研究成果を信頼性シンポジウム等で発表していく予定です。

私たちと一緒に Lcc の研究を進めてくださる仲間を募集しています。現段階で日本信頼性学会の会員でなくても研究会にご参加いただくことは可能です。Lcc 研究会に少しでもご関心がある方は、まずは下記のメールアドレスにご連絡をいただき、一度研究会の様子をご見学いただければ幸いです。ご連絡をお待ちしています。

(日 時) 2017 年 10 月 13 日 (金) 18:00~20:00

以降の開催予定 12 月 8 日, 2018 年 2 月 23 日

(場 所) (10/13) 日本科学技術連盟 本部 (新宿区西新宿2-7-1小田急第一生命ビル4階)

\*本部地図 [http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map\\_honbu.pdf](http://www.juse.or.jp/aboutus/access/pdf/map_honbu.pdf)

(検討内容) IEC 60300-3-12 (Dependability management - Part 3-12: Application guide - Integrated logistic support) について、特にLife Cycle Costingとの関連を意識しながら検討していきます。

(連絡先) 研究会主査 中島洋行 - [hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp](mailto:hiroyuki.nakajima@meisei-u.ac.jp)

詳細は、[http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content\\_id=45](http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45) よりご参照ください。

## プロジェクトマネジメント学会 2017 年度 秋季研究発表大会

(日 時) 2017 年 8 月 31 日 (木) ~9 月 1 日 (金)

(主 催) プロジェクトマネジメント学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 福岡大学 (〒814-0180 福岡市城南区七隈八丁目 19-1)

(問合先) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会 研究発表大会事務局: [taikai@spm-hq.jp](mailto:taikai@spm-hq.jp)

詳細は、[https://www.spm-hq.jp/committee/national\\_conference/](https://www.spm-hq.jp/committee/national_conference/) よりご参照ください。

## 第 39 回安全工学セミナー (化学品を扱うプロセスの災害防止)

毎年開催しております安全工学セミナーを下記要項にて実施いたします。各分野の第一人者による安全工学の基本から応用まで一貫して行われる講義で、大変好評をいただいております。今年度もより一層、内容を充実させております。ぜひ、奮ってご参加くださるようお願いいたします。

(日 時) ●物質危険性講座	2017 年 9 月 6 日 (水), 7 日 (木)	(化学会館)
●危険現象講座	2017 年 10 月 18 日 (水), 19 日 (木)	(化学会館)
●プラント安全講座	2017 年 11 月 15 日 (水), 16 日 (木)	(機械復興会館)
●安全マネジメント講座	2018 年 1 月 15 日 (月), 16 日 (火)	(化学会館:予定)

- (主 催) 安全工学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 科学会館 千代田区駿河台 1-5 (JR 御茶ノ水駅 3 分, 東京メトロ丸ノ内線御茶ノ水駅 5 分)  
機械振興会館 港区芝公園 3-5-8  
(東京メトロ日比谷線神谷町駅 8 分, 都営地下鉄三田線御成門駅 8 分)  
(問合先) 特定非営利活動法人安全工学会  
〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町 3-5-2 アロマビル 6 階  
TEL03-6206-2840 FAX03-6206-2848 E-mail : jsse-2004@nifty.com  
詳細は, <http://www.jsse.or.jp/> よりご参照ください.

## 第 9 回知識構造化シンポジウム 「未然防止力を高める SSM 知識の体系化と設計への活用」

SSM による構造化知識マネジメントは, 不具合情報から知識を一般化・体系化し, 再発防止・未然防止に有効活用する取組みとして, 現在多くの業種や企業で導入が進んでいます. 導入済み企業では, 不具合情報にとどまらず, 各技術部門が保有する様々なノウハウも構造化知識として蓄積し, 設計開発の各フェーズで活用しています. そうした活動の結果, 未然防止力が高まり, 問題点の早期摘出, 開発期間の短縮, 手戻りの削減, コストの抑制など, 様々な効果が生まれています.

今回のシンポジウムでは, SSM 知識を FMEA などの手法と組み合わせて設計開発に活かし, 不具合防止に取り組む 3 社の事例をご紹介します. また各社の講演を通じて, 関係部門が連携した知識運用の工夫, 活動により得られる効果など, 導入中・導入検討中の皆様に役立つヒントをご提供します.

\*SSM(Stress-Strength Model : ストレス-ストレングスモデル) とは, トラブルの経験・ノウハウを広くトラブル未然防止に活用できるように, 知識を構造的に表現するモデルです.

- (日 時) 2017 年 9 月 8 日 (金) 13:30~17:00  
(主 催) 日本科学技術連盟  
(後 援) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 東京証券会館 (東京都中央区)  
(参加費) 4,860 円 (会員・一般とも) ★特典付き! 詳細は下記 URL から★  
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 品質経営研修センター研修運営グループ  
TQM チーム SSM 担当 TEL03-5378-1213 E-mail : tqmsemi@juse.or.jp  
詳細は, <http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms> よりご参照ください.

## ソフトウェア品質シンポジウム 2017 (SQiP2017)

ソフトウェア品質に関しては日本で最大級のシンポジウムで, 毎年各方面から注目を集めている SQiP シンポジウム.

「聞く, 考える, 話す」を基本コンセプトに, 一般発表のほか, 基調講演, テーマ別企画セッション, 特別講演, 併設チュートリアル(半日集中講座), など充実のラインナップでお届けします.

ソフトウェア品質シンポジウム(SQiP2017)への皆様のご参加を心からお待ちしております.

(日 時) 2017年9月13日(水)～15日(金)  
(主 催) 日本科学技術連盟  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 東洋大学白山キャンパス (東京都文京区白山 5-28-20)  
<http://www.toyo.ac.jp/site/access/access-hakusan.html>  
(問合先) 一般財団法人日本科学技術連盟 ソフトウェア品質シンポジウム 2017 担当  
TEL03-5378-9813 FAX03-5378-9842 E-mail : sqip-sympo@juse.or.jp  
詳細は, <http://www.juse.jp/sqip/symposium/?d1701> よりご参照ください.

## センサ・アクチュエータ・マイクロナノ／ウィーク 2017 次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”

センサ・アクチュエータ・マイクロナノの普及啓蒙を目的とし, 3日間で5セッション, 「スポーツ医科学のためのセンサ技術・ドーピング検査およびその産業展開」「自動車用センサ」「海洋計測センサ」「社会インフラ」「IoT／センサ情報処理におけるA I (人工知能) の活用」をテーマに開催する.

(日 時) 2017年9月13日(水)～15日(金)  
(主 催) 次世代センサ協議会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 東京ビックサイト 会議棟 6階 610号室 (江東区有明 3-11-1)  
(プログラム)

- Session.1 「スポーツ医科学のためのセンサ技術・ドーピング検査およびその産業展開」
- Session.2 「自動車用センサ –自動運転とセンサー–」
- Session.3 「海洋計測センサ –海洋・船舶のIoTの発展と計測センサへの期待–」
- Session.4 「社会インフラ –道路斜面防災, 土砂防災における最新計測技術–」
- Session.5 「IoT／センサ情報処理におけるA I (人工知能) の活用」

各セッション3名の講師にご講演いただきます.

プログラムおよび講演内容詳細は申込先記載のホームページをご覧ください.

(参加費) 1セッションにつき (税・資料代込)  
次世代センサ協議会会員 8,500円, 次世代センサ協議会研究会員 11,000円  
協賛団体会員 11,000円, 一般 13,000円, 学生 3,500円  
(5セッション全てお申し込みの場合は割引あり)

(問合先) 一般社団法人次世代センサ協議会 事務局  
TEL.03-5294-2333 FAX.03-5294-0909 E-mail : office@jisedaisensor.org  
詳細は, <http://www.jisedaisensor.org/> よりご参照ください.

## 経営情報学会 2017年秋季全国研究発表大会 「ひと・情報・技術で創造する地域の未来」

600万年の人類の進化に比べて, この数十年の科学・技術の進歩は信じられない速さです. 地方に住む誰もが, 少子高齢化による地方の衰退を社会淘汰だとあきらめるよりも, 科学・技術の進歩に期待します. 未曾有の被害をもたらした東日本大震災の発生から6年半が経過し, 復興まったただ中の岩手は, 古

より豊かな文化を育んだ地です。本大会では、ゆっくりと進化してきた「ひと」と文化、そして急速に発展してきた「情報・技術」をテーマに、ICTの進展が地域の未来を創り出す可能性について皆さんとともに考えていきたいと思えます。盛岡駅隣接のサテライトキャンパス（岩手県立大学・アイーナキャンパス）にて、皆様の参加を心からお待ちしております。

(日 時) 2017年9月21日(木)～22日(金)

(主 催) 経営情報学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 岩手県立大学アイーナキャンパス・いわて県民情報交流センター (アイーナ)  
(岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1)

\*参加・発表申込と予稿提出は大会ホームページからお願いします。

\*発表者は参加申込が必要です。

[http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku\\_taikai/2017\\_fall/](http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_fall/)

(問合先) 一般社団法人経営情報学会 大会ヘルプデスク

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター

FAX03-3368-2827/e-mail : [jasmin-desk@bunken.co.jp](mailto:jasmin-desk@bunken.co.jp)

または、大会実行委員会 [jasmin-17@ml.iwate-pu.ac.jp](mailto:jasmin-17@ml.iwate-pu.ac.jp)

詳細は、[http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku\\_taikai/2017\\_fall/index.html](http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_fall/index.html) よりご参照ください。

## 安全評価・認証の実務者が語る「機械安全と第三者評価・認証」

リスクを受け入れ可能なレベルに低減させた機械を設計・製造することは機械メーカーの責務である。このために機械安全の安全要求の標準化が進められており、わが国でも日本工業規格 (JIS) として発行されている。規格の要求に沿って機械が設計・生産されているかを客観的に確かめる方法として、第三者による評価制度があり、欧米では長年の実績がある。しかしながら、わが国では製造者による評価 (第一者評価) 及びユーザーによる評価 (第二者評価) に比べ、第三者評価が浸透していないのが実情である。当講習会では、機械安全と第三者評価・認証の必要性とその意義及び第三者評価・認証を行う際に問題となる点を第三者評価・認証実務者により事例を交えて解説を行う。

(日 時) 2017年9月22日(金) 10:00～12:00

(主 催) 日本機械学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 日本電機工業会 会議室 61-63

(千代田区一番町 17 番地 4 電機工業会館)

(参加登録費) 会員及び共催、協賛団体会員 5,000 円 (学生員 2,000 円)

会員外 8,000 円 (一般学生 3,000 円) \*いずれも教材 1 冊分代金を含みます

(問合先) 一般社団法人日本機械学会 産業・化学機械と安全部門 担当職員 櫻井氏

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階 (03) 5360-3505

詳細は、<https://www.jsme.or.jp/event/2017-25781/> よりご参照ください。

## 2017年度第3回 OR セミナー「Excel ソルバーではじめる OR」

「限られた人や予算をうまく配分したい」「リスクを最小にするような投資配分を見つけないか」あるいは「多角的な視点から店舗や社員の効率性評価を行いたい」。そのような問題はオペレーションズ・リサーチ(OR)の代表的なツールであり、ビジネスにおけるキーテクノロジーの1つである「最適化」によってアプローチすることが可能です。ソルバーはある種の最適化を実現するソフトウェアです。高度化が進むソルバーの中にあつて、Excel ソルバーは最も身近なものであり、エントリーモデルとして相応しいものと言えます。本セミナーではオペレーションズ・リサーチ(OR)の古典的な問題を教材に、Excel ソルバーでどんなことができるのかを学びます。なお、セミナーは講義形式と演習形式を織り交ぜて行い、参加者は予め Excel (2010以降可) をインストールしたラップトップパソコンを持参することを前提とします。

(日 時) 2017年10月7日(土) 10:00~17:00

(主 催) 日本オペレーションズ・リサーチ学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) (株) 構造計画研究所 本所新館(地下1階レクチャールーム)  
(東京都中野区中央4-5-3)

(問合先) 公益社団法人日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-13-5 サン・チカビル7F

TEL03-3851-6100 FAX03-3851-6055 E-mail: jimukyoku@orsj.or.jp

詳細は、<http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi3> よりご参照ください。

## 第3回材料 WEEK

日本材料学会は材料に関わる広範囲の分野の研究者・技術者が参加する学会で、創設以来科学技術の根幹である材料分野において活発な活動を行ってきました。科学技術の発展には、知識・知恵の体系(学術)に関する情報交換が必須であり、学会はその学術交流の基盤インフラです。本会はこれまで情報交換の場として、5月の学術講演会ならびに部門委員会が企画するシンポジウム、講習会などを積極的に提供するとともに、日本学術会議材料工学委員会との連携のもと開催されてきた材料工学連合講演会の主担当をしてまいりました。材料工学連合講演会は複数の学協会の橋渡しをする貴重な交流の場でありましたが、2014年開催を最後に終了となり、本会は、材料工学連合講演会の趣旨を引き継ぎ、新たに「材料 WEEK」として開催するに至りました。第3回目となる材料 WEEK は、従来の複数の学協会からの提案企画によるワークショップを開催するとともに、学生の研究活動の一助としての若手学生研究発表会、本会部門委員会の企画によるシンポジウム、講習会ならびに公開部門委員会を一堂に会して行う企画です。材料学に関する幅広い知識の取得と他分野との交流の場として積極的なご参加を御願いたします。

(日 時) 2017年10月10日(火) ~10月14日(土)

(主 催) 日本材料学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 京都テルサ(京都市南区東九条下殿田70)

(問合先) 公益社団法人日本材料学会

TEL075-761-5321 FAX075-761-5325 E-mail: jimumu@jsms.jp

詳細は、<http://www.jsms.jp> よりご参照ください。

## 第5回定例講演会 ～自動運転のためのナビゲーション技術の現状と課題～

本年の定期講演会は、総合的なテーマとして、自動運転を取り上げます。学協会企業等がシンポジウムを開催しておりますが、力点の置き方はそれぞれです。本企画では、原点に戻りまして、DARPA グラントチャレンジ 2005 で優勝したロボット自動車スタンレーの技術的枠組みの何が課題で、どうなりそうかを考えることを目的としております。従いまして、七つの話題とパネルディスカッションを用意致しました。

- (日 時) 2017年10月20日(金) 9:00～  
(主 催) 慣性センサ応用技術研究協会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 機械振興会館 B3 研修室2  
(問合先) 特定非営利活動法人慣性センサ応用技術研究協会  
東京都武蔵野市吉祥寺東町3-7-13 TEL080-5036-0056 E-mail : office@traisa.org  
詳細は、 <http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/> よりご参照ください。

## 第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム

「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムは、センサ・マイクロマシン技術のさらなる発展を目標に、学・協会を超えた研究グループ間の情報交換、研究成果およびアイデアの討議の場として開催される、当該分野における日本最大のシンポジウムです。

会期中は日本機械学会マイクロ・ナノ工学部門主催の「マイクロ・ナノ工学シンポジウム」、応用物理学会集積化 MEMS 技術研究会主催の「集積化 MEMS シンポジウム」が同時開催されます。またエレクトロニクス実装学会および電子情報通信学会との連携セッションも開催されます。本シンポジウムに参加登録すると、これらの同時開催シンポジウム・セッションにも参加することができます。

今回新たな試みとして、一般投稿を基本的にポスター発表のみとすることで、これまで以上に密な議論の場を提供することにしました。また、魅力的な基調講演に加え、テクニカルツアー、技術ポスター発表、研究者交流企画なども予定しております。皆様からの積極的な投稿とご参加をお待ちしております。

- (日 時) 2017年10月31日(火)～11月2日(木)  
(主 催) 電気学会 センサ・マイクロマシン部門  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 広島国際会議場(広島県広島市)  
(問合先) 第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム事務局  
株式会社セミコンダクタポータル  
TEL03-5733-4971 FAX03-5733-4973 E-mail : sensorsympo\_2017@semiconportal.com  
詳細は、 [http://www.sensorsymposium.org/index\\_j.html](http://www.sensorsymposium.org/index_j.html) よりご参照ください。

## 第8回マイクロ・ナノ工学シンポジウム

マイクロ・ナノ工学部門では、マイクロ・ナノメートルの領域における工学・理学に機械工学がさら

なる主体的貢献を行うことを目的とし、部門大会として「第8回マイクロ・ナノ工学シンポジウム」を開催いたします。第7回マイクロ・ナノ工学シンポジウム、昨年度正式部門化を記念して開催された国際シンポジウムでは160件以上の発表がありました。第8回目となる本シンポジウムではこれを超える発表数を見込んでいます。また、第7回と同様、Future Technology from HIROSHIMA の名の下に、電気学会センサ・マイクロマシン部門主催第34回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム、応用物理学会集積化MEMS技術研究会主催第9回「集積化MEMSシンポジウム」、ならびにエレクトロニクス実装学会および電子情報通信学会との連携セッションも同時開催されます。マイクロ・ナノ工学シンポジウムに参加登録されますと、これらの同時開催シンポジウム、セッションの講演、行事に参加できます。さらに、今年度から一般講演を全てポスター発表としました。これにより、マイクロ・ナノ工学部門はもちろん、他学会、他分野の研究者・技術者とのより一層密な交流ができる場となっております。皆様の積極的なご参加をお待ちしております。

(日 時) 2017年10月31日(火)～11月2日(木)

(主 催) 日本機械学会 マイクロ・ナノ工学部門

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 広島国際会議場(広島県広島市)

(原稿提出締切) 2017年9月8日

(問合先) 第8回マイクロ・ナノ工学シンポジウム実行委員会

実行委員長: 三木則尚(慶應義塾大学) [miki\[at\]mech.keio.ac.jp](mailto:miki[at]mech.keio.ac.jp)

プログラム委員長: 宮崎康次(九州工業大学) [miyazaki\[at\]mech.kyutech.ac.jp](mailto:miyazaki[at]mech.kyutech.ac.jp)

実行委員会事務局: 日本機械学会 担当職員 熊谷理香 [kumagai\[at\]jsme.or.jp](mailto:kumagai[at]jsme.or.jp)

詳細は、<http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/> よりご参照ください。

## 第37回ナノテストングシンポジウム

ナノテストングシンポジウム(旧名称 LSI テスティングシンポジウム)は、ナノスケールの構造を持った材料・デバイスのテストング技術に関し、設計、プロセス、テスト、診断、解析、および設計・製造・テスト装置分野の研究者が一堂に会し議論する場を提供することを目的として、毎年開催されています。第37回の今年度のシンポジウムでは、三日間に、特別招待講演、特別セッション、技術セッション(一般講演)、コマーシャルセッション(新製品紹介)、コマーシャル展示、及びイブニングセッションを行います。特別セッション、及び、技術セッションへの応募論文については、査読が実施され、テストングに関する課題、解法、結果、結論の明確さに基づいて採択されます。下記に示される技術領域に関して、オリジナルで、コマーシャルでない、公開されていない、ナノテストング技術の進展を促すような論文を奮ってご投稿下さい。

(日 時) 2017年11月8日(水)～11月10日(金)

(主 催) ナノテストング学会

(協 賛) 日本信頼性学会 他

(会 場) 千里ライフサイエンスセンター(大阪府豊中市新千里東町1-4-2)

(講演ならびに商業展示の申込期限) 2017年7月28日(金) 17:00まで

(問合先) ナノテストング学会事務局

〒565-0871 吹田市山田丘1-5 大阪大学 大学院情報科学研究科  
情報システム工学専攻 中前研究室内

TEL06-6879-7813 FAX 06-6879-7812 E-mail : NANOTS@ist.osaka-u.ac.jp

詳細は、 <http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/> よりご参照ください。

## 11th International Conference on Project Management (ProMAC2017)

PM 学会では、「ProMAC2017」の名称で第 11 回 PM 国際会議をミュンヘンで開催いたします。最高のロケーションで、新たな国際交流の場をご提供いたします。

PM 関連技術は、FMES 会員学会の皆様のフィールドと深く関わっております。皆様が培った知識やノウハウは PM にとって大いに役立つものと考えております。

この機会に国際会議で発表されたことのない方は勿論、他国のエンジニアらと交流したい方、自身の経験を国際会議の場で発表されたい方など国際会議にご興味のある方は是非発表をお勧めいたします。

- (日 時) 2017 年 11 月 29 日 (水) ~12 月 1 日 (金)  
(主 催) プロジェクトマネジメント学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) The H4 Hotel Munchen Messe, Munich, Germany  
(問合先) 一般社団法人プロジェクトマネジメント学会行事委員会  
論文・発表等に関するお問合せ [event@spm-hq.jp](mailto:event@spm-hq.jp)  
詳細は、 <http://www.spm-hq.jp/promac/2017/> よりご参照ください。

## 第 4 回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー (演習付き)

- (日 時) 2017 年 12 月 14 日 (木) 10:25~16:40  
(主 催) 日本材料学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 阪南大学 あべのハルカスキャンパス セミナー室  
(大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 23 階)  
(問合先) 公益社団法人日本材料学会  
京都市左京区吉田泉殿町 1-101  
TEL075-761-5321 FAX075-761-5385 E-mail : [jimu@jsms.jp](mailto:jimu@jsms.jp)  
詳細は、 <http://sinrai.jsms.jp/> よりご参照ください。

## 第 30 回記念信頼性シンポジウム

—安心・安全を支える信頼性工学の新展開 (信頼性工学の過去・現在・未来)—

- (日 時) 2017 年 12 月 15 日 (金), 16 日 (土)  
(主 催) 日本材料学会  
(協 賛) 日本信頼性学会 他  
(会 場) 阪南大学 あべのハルカスキャンパス セミナー室  
(大阪市阿倍野区阿倍野筋 1-1-43 あべのハルカス 23 階)  
(講演申込締切) 2017 年 9 月 15 日 (金)  
(問合先) 公益社団法人日本材料学会

京都市左京区吉田泉殿町 1-101

TEL075-761-5321 FAX075-761-5385 E-mail : jim@jsms.jp

詳細は、 <http://sinrai.jsms.jp/> よりご参照ください。

## 文教大学 専任教員の公募について

(専門分野) 【システム分析】(教授・准教授・講師) 1名  
【システム開発】(教授・准教授・講師) 1名  
【マーケティング・リサーチ】(教授・准教授・講師) 1名  
【調査・統計】(教授・准教授・講師) 1名

(職種) 教授, 准教授・准教授または専任講師

(勤務場所) 文教大学湘南校舎(茅ヶ崎市行谷 1100 番地)

(勤務形態) 常勤(任期なし)

(採用予定年月日) 2018年4月1日

(募集終了日) 2017年9月21日 郵送必着

(問合せ先) 担当科目: 情報学部長 釈氏 孝浩 氏 shakushi@shonan.bunkyo.ac.jp

事務手続き: 湘南校舎事務局 総務課 TEL0467-53-2111 (代表)

事務局問合せ時間: 月~金 9:00~17:00 土 9:00~12:00

応募資格, 提出書類等の詳細は、 <http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm> よりご参照ください。

## 行事予定 下線は本学会主催行事

名 称	開催地	開催日	申込	参 照*
故障物性研究会	日科技連 東高円寺ビル	2017/8/25		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72</a>
プロジェクトマネジメント学会 2017 年度秋季研究発表大会	福岡大学 福岡市城南区	2017/8/31-9/1		<a href="https://www.spm-hq.jp/committee/national_conference/">https://www.spm-hq.jp/committee/national_conference/</a>
2017 年度統計関連学会連合大会	南山大学 名古屋キャンパス	2017/9/3-6		<a href="http://www.jfssa.jp/taikai/2017/">http://www.jfssa.jp/taikai/2017/</a>
第 39 回安全工学セミナー 化学品を扱うプロセスの災害防止	化学会館 機械振興会館	2017/9/6-7 2017/10/18-19 2017/11/15-16 2018/1/15-16		<a href="http://www.jsse.or.jp/">http://www.jsse.or.jp/</a>
第 9 回知識構造化シンポジウム 「未然防止力を高める SSM 知識への体系化と設計への活用」	東京証券会館 中央区	2017/9/8		<a href="http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms">http://www.juse.or.jp/src/seminar/detail/page/ssms</a>
ソフトウェア品質シンポジウム 2017 (SQiP2017)	東陽大学 文京区白山	2017/9/13-15		<a href="http://www.juse.jp/sqip/symposium/?d1701">http://www.juse.jp/sqip/symposium/?d1701</a>
センサ・アクチュエータ・マイクロナノ/ウィーク 2017 次世代センサ総合シンポジウム “ニーズとシーズの出会い”	東京ビックサイト 江東区有明	2017/9/13-15		<a href="http://www.jisedaisensor.org/">http://www.jisedaisensor.org/</a>
<u>2017 年度第 1 回フォーラム</u>	日科技連 東高円寺ビル	2017/9/14		<a href="http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=81">http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=81</a>
文教大学教員募集	茅ヶ崎市 神奈川県	2017/9/21 〆切		<a href="http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm">http://www.bunkyo.ac.jp/gakuen/saiyo.htm</a>

経営情報学会 2017 年秋季全国研究発表大会 「ひと・情報・技術で創造する地域の未来」	岩手県立大学 盛岡市	2017/9/21-22		<a href="http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_fall/index.html">http://www.jasmin.jp/activity/zenkoku_taikai/2017_fall/index.html</a>
安全評価・認証の実務者が語る「機械安全と第三者評価・認証」	日本電機工業会会議室 千代田区一番町	2017/9/22		<a href="https://www.jsme.or.jp/event/2017-25781/">https://www.jsme.or.jp/event/2017-25781/</a>
2017 年度第 3 回 OR セミナーセミナー 「Excel ソルバーではじめる OR」	構造計画研究所 中野区	2017/10/7		<a href="http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi3">http://www.orsj.or.jp/activity/seminar.html#semi3</a>
第 3 回材料 WEEK	京都テルサ 京都市	2017/10/10-14		<a href="http://www.jsms.jp">http://www.jsms.jp</a>
Lcc 研究会	日科技連 本部（西新宿）	2017/10/13		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45</a>
第 5 回定例講演会～自動運転のためのナビゲーション技術と課題～	機械振興会館	2017/10/20		<a href="http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/">http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/</a>
2017 International Conference on Materials and Reliability (ICMR2017) & 2017 International Conference on Quality, Reliability, Risk, Maintenance, and Safety Engineering (QR2MSE2017)	Chengdu, Sichuan China	2017/10/24-27		<a href="http://www.qr2.mse.org">http://www.qr2.mse.org</a>
故障物性研究会	日科技連 東高円寺ビル	2017/10/27		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72</a>
第 34 回 センサ・マイクロマシンと応用システム シンポジウム	広島国際会議場 広島市	2017/10/31- 11/2		<a href="http://www.sensorsymposium.org/index_j.htm">http://www.sensorsymposium.org/index_j.htm</a>
第 8 回マイクロ・ナノ工学シンポジウム	広島国際会議場 広島市	2017/10/31- 11/2		<a href="http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/">http://www.hybrid.iis.u-tokyo.ac.jp/mnm2017/</a>
第 37 回ナノテストングシンポジウム	千里ライフサイエンス センター／豊中市	2017/11/8-10		<a href="http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/">http://www-NANOTS.ist.osaka-u.ac.jp/</a>
第 30 回秋季信頼性シンポジウム	日科技連 東高円寺ビル	2017/11/27	8/28	<a href="http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=80">http://www.reaj.jp/modules/eguide/event.php?eid=80</a>
11th International Conference on Project Management (ProMAC2017)	The H4 Hotel Munchen Messe, Munich Germany	2017/11/29-12/1		<a href="http://www.spm-hq.jp/promac/2017/">http://www.spm-hq.jp/promac/2017/</a>
日科技連 品質管理シンポジウム	オークラクトシティ ホテル浜松／浜松市	2017/11/30-12/2		<a href="https://www.juse.jp/qcs/">https://www.juse.jp/qcs/</a>
故障物性研究会	日科技連 東高円寺ビル	2017/12/8		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=72</a>
Lcc 研究会	日科技連 東高円寺ビル	2017/12/8		<a href="http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45">http://www.reaj.jp/modules/pico/index.php?content_id=45</a>
第 4 回初心者にもわかる信頼性工学入門セミナー（演習付き）	阪南大学あべのハルカ スキャンパス 大阪市阿倍野区	2017/12/14		<a href="http://sinrai.jsms.jp/">http://sinrai.jsms.jp/</a>
第 30 回記念信頼性シンポジウム —安心・安全を支える信頼性工学の新展開（信頼性工学の過去・現在・未来）—	阪南大学あべのハルカ スキャンパス 大阪市阿倍野区	2017/12/15-16		<a href="http://sinrai.jsms.jp/">http://sinrai.jsms.jp/</a>
The 24th ISSAT International Conference on Reliability and Quality in Design (RQD2018)	Toronto, Canada	2018/8/2-4		